

見性院人事採用のための原則規程他を公開します

この度、当院人事採用のための原則規程他を公開します。人格、教養ともに優秀で社会に貢献しうる資質のある人材を確保していく一助とさせていただきます。

禅宗史の『続高僧伝(ぞくこうそうでん)』十六には「慧可断臂(えかだんぴ)」の話が伝えられています。禅宗の高僧慧可は、嵩山(すうざん)の少林寺にいた達磨に教えを請うたものの、達磨は面壁坐禅をしているだけで相手にはしてくれなかった。慧可はある日、大雪の夜、雪の降り積もる山中で自らの左臂(ひじ)を断ち切った。自らの本気度を達磨に指し示したのである。この求道の不退転の決意を見た達磨は漸く慧可を弟子入りとして許可をしたという。これが禅寺の始まりである。禅宗とはそういうものである。

今回の私の人事採用の目的・企みは、待遇や給料に関係なく道心のみで飛び込んでくる人ござれです。これくらいの覚悟のある人だけでよいというのが趣旨です。その後の生活、給与、待遇は自分で何とかしていくぞという気概のある人が求められています。先行き不透明の時代の中で頼れるのは自分だけであるという求道者を受け入れます。

仕事をこちらがしてもらおうのではなく、その人が仕事を作れる人に。人がすべての職場を目指していければと思います。一人一人が主役にして財産、これが見性院の宝になれば理想です。



「慧可断臂図」

雪舟筆

国宝

愛知 齋年寺 所有

京都国立博物館